



2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社スマレジ
 コード番号 4431
 代表者（役職名） 代表取締役
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長
 半期報告書提出予定日 2025年12月12日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 URL <https://corp.smaregi.jp/>
 (氏名) 宮崎 龍平
 (氏名) 式地 めぐみ (TEL) 06-7777-1772
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)								
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年4月期中間期	百万円 6,264	% —	百万円 1,321	% —	百万円 1,335	% —	百万円 887	% —
2025年4月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—
(注) 包括利益 2026年4月期中間期		887百万円(- %)		2025年4月期中間期		-百万円(- %)		
		1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益				
2026年4月期中間期	円 46.10	銭	円 46.04	銭	—	—	—	—
2025年4月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年4月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年4月期中間期の数値及び対前年中間期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年4月期中間期	百万円 12,287	百万円 8,271	% 67.3
2025年4月期	10,917	7,672	70.3

(参考) 自己資本 2026年4月期中間期 8,271百万円 2025年4月期 7,672百万円

(注) 当中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年4月期	円 —	円 0.00	円 —	円 15.00	円 15.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益				
通期	百万円 13,859	% 25.2	百万円 2,954	% 24.1	百万円 2,954	% 25.0	百万円 2,016	% 22.6	円 104.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年4月期中間期 | 19,692,400株 | 2025年4月期 | 19,692,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年4月期中間期 | 431,479株 | 2025年4月期 | 431,404株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2026年4月期中間期 | 19,260,971株 | 2025年4月期中間期 | 19,240,393株 |

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年12月15日（月）に決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。また、決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較分析は行っておりません。

当中間連結会計期間(2025年5月1日から2025年10月31日まで)における、当社POSシステムのメインユーザーである飲食等のサービス業界や小売業界の景気動向は、物価高や人手不足の影響が見られるものの、インバウンド需要による外需の取り込み等により、緩やかながら回復基調にあります。

当社グループでは、中期経営計画の最重要指標であるARR増大に向けた施策を積極的に展開しております。当期においては、子会社である株式会社ネットショップ支援室が提供するプロダクトと当社POSシステム、決済システムとの機能連携を開始いたしました。

このような取り組みに加え、売上高においては、POSを核とした自社サービスとのクロスセル施策の奏功、機器サブスクリプション売上の伸長が要因となり、月額利用料等が売上高全体の成長を牽引いたしました。

また、認知拡大とリード獲得に主眼を置いた広告宣伝活動に加え、エンジニア、フロントオフィス部門を中心とした積極的な採用活動を展開し、中長期的な企業価値および組織力の向上を図ってまいりました。

その結果、ARRは99.4億円を突破し、第2次中期経営計画で掲げた2025年度の目標である94.6億円を半期前倒しで達成いたしました。

なお、営業利益につきましても、業績計画に対して堅調に推移しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は6,264百万円、営業利益は1,321百万円、経常利益は1,335百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は887百万円となりました。

なお、当社グループはクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

販売高前年同期比

(単位：千円)

販売内訳	前中間会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)	前年同期比(%)
月額利用料等	3,465,208	4,793,555	+38.3
機器販売等	1,526,509	1,266,484	△17.0
その他	160,570	204,791	+27.5
合計	5,152,287	6,264,831	+21.6

※1 前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前中間会計期間は個別財務諸表における販売高を記載しております。

※2 当中間連結会計期間より、「機器販売等」に含めていた「スマレジ保守サービス料」の販売高を、継続的に発生する定額収益の性質に鑑み、「月額利用料等」の販売高に計上しております。それに伴い、前中間会計期間の販売高も組替えて表示しております。

ARR推移

(単位：百万円)

	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2025年10月
スマレジ利用料関連	2,230	3,243	4,209	5,534	6,297
キャッシュレス決済	381	624	1,175	1,794	2,200
タイムカード	309	436	548	676	739
EC関連 (ネットショップ支援室)	—	—	—	675	709
ARR合計	2,920	4,303	5,932	8,679	9,945

※1 ARR : Annual Recurring Revenue (年間経常収益)。各期末月のMRR (Monthly Recurring Revenue : 月間経常収益) を12倍して算出しております。

※2 2025年4月以降のARRには、連結子会社の数値も含まれております。

※3 当中間連結会計期間より「機器販売等」に含めておりました「スマレジ保守サービス料」の販売高を、「月額利用料等」の販売高に計上しております。それに伴い、ARRにおいては「スマレジ利用料関連」に含めております。

有料プラン登録店舗数の推移

	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2025年10月
プレミアム	4,345	5,647	7,081	7,723	8,326
プレミアムプラス	8,196	9,793	12,562	15,533	16,934
フードビジネス	3,865	4,711	5,665	6,611	6,964
リテールビジネス	7,782	8,885	10,204	11,551	12,192
フード&リテール	260	374	494	598	620
有料プラン合計	24,448	29,410	36,006	42,016	45,036

※1 上記はすべて有料プランであり、プラン毎にサービス内容が異なります。店舗数の定義は、実際に「スマレジ」でサインアップを行い登録された数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

※2 無料プラン（スタンダードプラン）にオプション追加で有料化されている場合がありますが、有料プランには含んでおりません。

累積取扱高の推移

(単位：百万円)

	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2025年10月
累積取扱高	4,605,960	6,243,138	8,457,026	11,225,482	12,785,241

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,426百万円増加し、9,251百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が894百万円、未収入金が432百万円増加したこと等によるものであります。当中間連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円減少し、3,035百万円となりました。この主な要因は、のれんが33百万円、投資その他の資産が102百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,370百万円増加し、12,287百万円となりました。

② 負債

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて793百万円増加し、3,599百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が50百万円減少したものの、賞与引当金が182百万円、未払金が404百万円増加したこと等によるものであります。当中間連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて22百万円減少し、416百万円となりました。この主な要因は、資産除去債務が15百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて770百万円増加し、4,015百万円となりました。

③ 純資産

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて599百万円増加し、8,271百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が288百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益を887百万円計上したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて894百万円増加し、6,806百万円となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,390百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,335百万円の計上、未払金の増加額404百万円及び預り金の増加額379百万円等の一方で、法人税等の支払額527百万円及び未収入金の増加額432百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は207百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出161百万円、無形固定資産の取得による支出160百万円、敷金の回収による収入116百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は288百万円となりました。これは、配当金の支払額288百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月12日に公表した2026年4月期の通期連結業績予想においては、株式会社ネットショップ支援室の取得に伴い発生したのれんについて、取得原価の配分が未完了であったためレンジ形式としておりましたが、取得原価の再配分が完了しましたので、レンジ形式から固定数値へ修正いたします。

詳細は、本日公表の「2026年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,912,615	6,806,826
売掛金	846,672	835,298
商品	650,131	840,553
その他	416,734	775,759
貸倒引当金	△909	△6,533
流動資産合計	7,825,243	9,251,903
固定資産		
有形固定資産	756,000	778,561
無形固定資産		
のれん	432,537	399,369
顧客関連資産	786,683	755,332
その他	408,606	496,532
無形固定資産合計	1,627,826	1,651,234
投資その他の資産	708,520	605,935
固定資産合計	3,092,347	3,035,730
資産合計	10,917,591	12,287,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,243	213,744
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	575,262	524,760
賞与引当金	19,700	202,064
その他	1,885,608	2,559,067
流動負債合計	2,805,814	3,599,637
固定負債		
資産除去債務	198,289	182,836
その他	240,692	233,290
固定負債合計	438,981	416,127
負債合計	3,244,796	4,015,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,068	1,156,068
資本剰余金	1,184,717	1,184,717
利益剰余金	5,929,747	6,528,823
自己株式	△597,739	△597,739
株主資本合計	7,672,794	8,271,869
純資産合計	7,672,794	8,271,869
負債純資産合計	10,917,591	12,287,634

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
売上高	6,264,831
売上原価	2,163,418
売上総利益	4,101,412
販売費及び一般管理費	2,779,696
営業利益	1,321,716
営業外収益	
受取利息	5,763
その他	8,708
営業外収益合計	14,471
営業外費用	
支払利息	429
その他	455
営業外費用合計	884
経常利益	1,335,303
税金等調整前中間純利益	1,335,303
法人税、住民税及び事業税	481,141
法人税等調整額	△33,828
法人税等合計	447,313
中間純利益	887,990
親会社株主に帰属する中間純利益	887,990

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(自 2025年5月1日
至 2025年10月31日)

中間純利益	887,990
中間包括利益	887,990
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	887,990
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間
 (自 2025年5月1日
 至 2025年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,335,303
減価償却費	196,676
長期前払費用償却額	1,090
のれん償却額	33,167
顧客関連資産償却額	31,350
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,623
賞与引当金の増減額（△は減少）	182,364
受取利息及び受取配当金	△5,783
支払利息	429
売上債権の増減額（△は増加）	△46,275
棚卸資産の増減額（△は増加）	△190,422
仕入債務の増減額（△は減少）	△11,498
未収入金の増減額（△は増加）	△432,031
未払金の増減額（△は減少）	404,263
預り金の増減額（△は減少）	379,514
未払消費税等の増減額（△は減少）	△53,206
その他	82,754
小計	1,913,321
利息及び配当金の受取額	5,783
利息の支払額	△429
法人税等の支払額	△527,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,390,712
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△161,798
無形固定資産の取得による支出	△160,817
敷金の回収による収入	116,715
資産除去債務の履行による支出	△2,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△288,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,517
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	894,210
現金及び現金同等物の期首残高	5,912,615
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,806,826

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年12月27日に行われた株式会社ネットショップ支援室との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額965,069千円は、会計処理の確定により526,295千円減少し、438,774千円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産が759,247千円、無形固定資産その他が29,671千円、繰延税金負債が262,623千円増加したことによるものであります。また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、顧客関連資産が739,779千円、無形固定資産その他が28,857千円、繰延税金負債が240,692千円、利益剰余金が5,790千円増加し、のれんが501,233千円、繰延税金資産が20,920千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。